



大山・宇嶺の滝エリア



- A 朝霧高原・長者ヶ岳エリア**
Asagiri Highland-Mt. Chojagatake Area
① 朝霧高原コース ② 長者ヶ岳コース
- B 興津川・竜爪山エリア**
Okitsu River-Mt. Ryuso Area
③ 興津川コース ④ 竜爪山コース
- C 大山・宇嶺の滝エリア**
Mt. Oyama-Utoge Falls Area
⑤ 大山コース ⑥ 宇嶺の滝コース
- D 高根山・金剛院エリア**
Mt. Takane-Kongojin Temple Area
⑧ 高根山コース ⑨ 金剛院コース
- E 新宮池・秋葉山エリア**
Shingu Pond-Mt. Akiba Area
⑩ 新宮池コース ⑪ 秋葉山コース
- F 天竜美林・県境エリア**
The Tenryu Beauty Forest-Prefectural border Area
⑫ 天竜美林コース ⑬ 県境コース
- G 芝川・野田山エリア**
Shibakawa River-Nodayama Area
(BP1) 芝川コース (BP2) 野田山コース
- H 浜石岳・日本平エリア**
Mt. Hamashidake-Nihondaira Area
(BP3) 浜石岳コース (BP4) 日本平コース
- I 満観峰・びく石エリア**
Mt. Mankanho-Bikushi Area
(BP5) 満観峰コース (BP6) 玉露の里コース
⑭ びく石コース

東海自然歩道

Tokai Nature Trail

「東海自然歩道」は日本の美しい自然や貴重な文化遺産を守り、多くの人々が足で歩いて自然の魅力にふれる健全なレクリエーションと情操教育の場として、昭和45年から整備されたものです。この歩道は、沿線の自然保護をはかりながら、ハイキングを楽しめるように整備されています。野鳥のさえずり、清らかな溪流、木漏れ日が射込む緑の林、めずらしい野生小動物の生態、そして由緒ある寺社や古墳などの文化遺産があります。経験・体力・技術に合わせた計画を立て、四季折々の自然を満喫してください。



自然保護憲章

自然をとうとび、自然を愛し、自然に親しもう。
自然に学び、自然の恵みとそとをわかないようにしましょう。
美しい自然、大切な自然を次々に伝えていこう。

ウォーキングの心得

- 事前にコースを充分検討し、余裕ある計画を組ましよう。
- 紙くずやタバコの吸い殻、カン、ペットボトル等は持ち帰りましよう。
- 植物や動物を採ったり、傷つけたりしないようしましよう。
- 歩道施設、標識等を大切にしましよう。歩道以外の山や耕地に入らないようしましよう。
- 飲料水は必ず持っていましよう。
- 車道との併用区間がありますので注意しましよう。
- 毒虫や毒蛇に注意し、医薬品等を携行しましよう。
- 熊との遭遇を避けるため、大きな音の鳴る鈴等を鳴らしながら歩ましよう。

パンフレット地図は静岡県観光協会ホームページ
[http://hellonavi.jp/]からダウンロードできます。

東海自然歩道 静岡 [検索]

⑤ 大山コース (約25km)



大山から望む富士山は格別。静岡銘茶の産地を歩く。

安倍川と薬科川を分かつ根根の一角、「大山」(標高986m)を越えるルートから始まります。足久保川沿いの「谷沢」から登り約6km、薬科川の「寺島下」までの下り11km足らず、標高差850mの道程を6~7時間で歩く、健脚向きルートです。



大山と突先山

突先山の山頂からは、富士山や南アルプスが見渡せます。無線中継所の大きなアンテナが目印の大山山頂からは、富士山の他に、静岡市街地から駿河湾まで見ることができます。



静岡茶 Shizuoka Tea

静岡市の山間地域では、古くからお茶やわさび等の農産物が生産されてきました。なかでも、静岡茶のルーツと言われる足久保茶は、鎌倉時代に静岡出身の高僧聖一國師が中国(宋)からお茶の種を持ち帰り、足久保の地にまいたという説があります。徳川家康が駿府城に在城の折も徳川家御用として愛飲されていました。

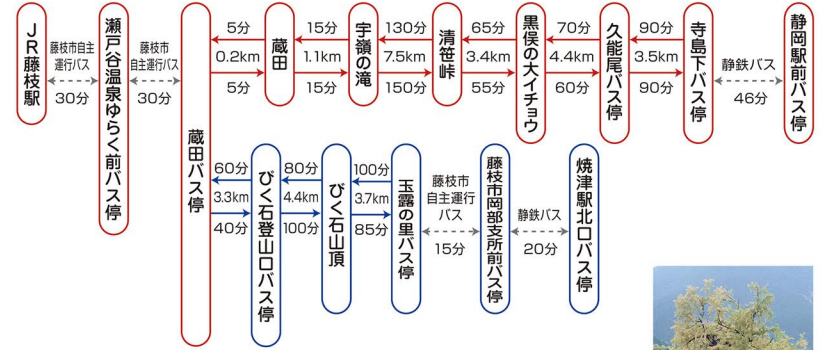


⑥ 宇嶺の滝コース (約20km)



落差70メートル、東海地方有数の宇嶺の大滝が迎える

黒俣川の清流を何回も横切るこのコースは、前半の「静」と後半の「動」が対称をしています。のどかな山村風景や茶畑を見ながらゆったりと散策が楽しめる前半と違って、後半はダイナミックな宇嶺の滝など景観が一転します。



宇嶺の滝

高根山の麓にある落差70mの大滝です。別称「お君の滝」ともいわれ、悲恋の物語を秘めています。水量は豊富で、岩肌を二つに割って勢いよく落下する様は、まさに壮観そのもの。東海自然歩道の中でも有数の見所です。

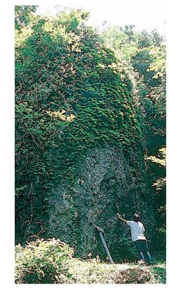
黒俣の大イチョウ

黒俣の大イチョウ (黒指定天然記念物) 小高い丘の上にあります。根回り13m、樹高20m。樹齢は不明ですが、大きく広げた枝振りから相当の年月を経たことを感じさせます。秋にはすばらしい紅葉が楽しめます。



びく石

藤枝市北部の山岳地帯は、自然観察の宝庫ともいえる森が広がっています。その中にある巨岩群は見ものです。茶摘に使うびくに似た大きな岩があることからこう呼ばれています。近くには家族で楽しめる「びく石ふれあい広場」があります。



市民の森 (ビオトープ・ガーデン)

びく石山頂周辺は、市民の森として整備されています。野鳥観察小屋、ビオトープガーデンなどでは四季を通じてさまざまな動植物が観察できます。



※鉄道・バスについては、季節・曜日等により運行状況が変わる場合があります。必ずお問い合わせ先に記載されている関係連絡先にご確認ください。また、バス路線は平成21年1月時点のものであり、路線が変更になる場合があります。